

未来へつながる確かな安心をお届けします

肥後保険企画

2024年3月139号(毎月1回発行)

発行：肥後保険企画 株式会社 監修：渡辺 時貞

〒860-0843 熊本市中央区草葉町 4-20 AIG 熊本ビル 1F

Tel 096-342-6233 Fax 096-342-6390 URL <https://www.higohoken.co.jp>

check



© 2010 藤本昌之・モチ

日々の営業活動の中で、ご縁をいただいた方々にお届けしています。

お忙しい毎日の“一息”としてお読みいただけましたら幸いです。

勉強に行つてきました。
■人材育成や今後の
事業展開などについて
じつくりとご指導頂き
ました。島村社長、あ
りがとうございました。



島村社長とのツーショット

● 経営者に取り入るような上司だと部下と競争して手柄を立てようとします。そうなると部下ははやる気を失い、結果はマイナスです。経営者も含めて皆が仕事に必要な技能を出し合い、協力して仕事ができてこそ、意欲的な組織になるはずです。

（株）エスプランニングさんとご縁を頂き、岡山県でご活躍の先輩保険代理店

▼ 部下が失敗するのは上司の教え方の問題が多いように思います。上司は自分の知識を惜しみなく部下に与えなければなりません。

・上司ができる協力は、部下が最初から完璧に仕事をこなせるわけではないので、失敗した時や成績が振るわない時に同じ失敗をしないように、また成績を伸ばせるよう教育することです。

ごとにちは！渡辺です。いつも定期便をご覧いただきありがとうございます。
▼当然のことながら、新しく入社した人がすぐに仕事の段取りを覚えられない時に、は、仕事を早く覚えられるように皆が協力する必要があります。

二〇四



**手書きなので
枚数に限りはあります
が、絵はがきをお届けしています。**

子供の満面の笑みって見ていて幸せを感じますね。キラキラしたこぼれる笑顔をはがきいっぱいに描きました。

そろそろ、色んな花が咲く春爛漫の季節がやってきます。花と同じように人も心から思いっきり笑っていると「笑う門には福来る」たくさんの幸せが自然に巡ってくるのではないかでしょうか。

今はAIで画像やイラスト、動画まで自動生成される時代ですが、一枚一枚心を込めてお届け致します。



生命保険お役立ち一口情報

必要保障額とは、世帯主が死亡したときに最低限、遺族に残したいお金のことです。死亡保障を準備するためには、必要保障額を把握することが前提になります。ここが分からないと、保険に入りすぎて余計な保険料を払ったり、いざというときに遺族が困窮することになりかねません。

多くの場合、手厚い保障をしたから安心と思いがちですが、手厚い保障は一生続きません。必要保障額を知って、保険のコストを少なくすることが、家計を営むうえで何よりも大切です。保険料の負担が貯蓄に与える影響は計り知れないものがあります。

必要保障額を知るために、現状でどのくらいの生活費がかかるのかを知ることからスタートしてみてはいかがでしょうか。

相続対策に生命保険を活用

相続のとき、生命保険は目的に応じて様々な使い方ができます。円滑な遺産分割や相続税の軽減対策に、生命保険やその保険金の活用は欠かせません。

相続は発生した場合、亡くなった人の死亡保険金には非課税枠(法定相続人の人数×500万円)があり、その分だけ相続税を少なくすることができます。また現金で受け取れるので税金の支払いや葬儀費などに充てる 수도 있습니다.さらに保険金は受取人固有の財産になり、遺産分割協議の対象外。分割割合が公平でない場合に受取人が他の相続人に代償金として払えば、対立の深刻化を回避できます。



争族解決にも役立ちます



相続税対策では生前贈与も有効。その仕組みを利用したのが、生前贈与機能付き保険です。円や米ドル、豪ドルなど契約者が指定した通貨で運用し、年に一度保険資産から生前給付金を支払います。子らが受け取れば生前贈与になりますが、贈与税は受贈者一人あたり年110万円までなら非課税です。

利点は通常の生前贈与より手続きが簡単なこと。保険会社が毎年一定額を振り込むので、贈与契約書も不要です。給付金は契約者が生きていないと支払われず、受取人も変更可能なので定期贈与には当たりません。ただ外貨建てでは為替の影響に目配りが必要です。



肥後保険登山倶楽部

こんにちは、登山倶楽部の萩尾です。今回ご紹介する山は鹿児島県薩摩半島にある開聞岳です。鹿児島の海の入り口の海門から名前が付いたそうです。

さてこの開聞岳の特徴は綺麗な円錐状の山でその美しさから薩摩富士とも呼ばれていて日本百名山にもなっています。そして登山道も特徴があり、山を右回りにぐるっと周回しながら登るので1本道です。しかもほぼ海面に近いところから924mの山頂までまるっと開聞岳を昇り詰めるので辛さ倍増です。しかしそれを耐え登り続けると途中からの展望や山頂からの360度の絶景に疲れも吹っ飛びます。天候に恵まれれば桜島や屋久島、種子島、霧島山など南九州の山々も一望です。



美しい名峰「開聞岳」

初心者からベテランまで人気のある山ですので健康目的にでも一度トライしてはいかがですか。

厨房の哲学者



重要なのは何をするかではなく、選ばざるを得なかつた仕事に没頭し、自分に与えられた中国料理に取り組んできたことがターニングポイントだったのかをゆっくりと考えてみると、とにかくそれがなぜか自分なりに面白かったのです。

2月14日のバレンタインデーに社内で「レクリエーションカフェ」を行いました。従業員全員で美味しいコーヒーとシェタニの癒しのチョコレートを頂きながらランプで Baba 抜きをするという、未知なる試みでしたが、あっという間の楽しい30分間でした。Baba 抜きの最後は経営陣の熱き戦いとなり、目の色が変わっておりました。皆が本気でゲームを楽しんでもらえるように景品も用意しました。

肥後保険企画のレクリエーションイベントは、仕事の合間にほっと一息つきながら、みんなに楽しいと思ってもらえるように企画しています。



レクリエーションカフェ

コミュニケーションの活性化でチーム力をさらに高められるように、今後も皆さんで色々なアイディアを出し合いながら、楽しいイベントにしたいです。

父親から中学校を卒業したら赤坂の中国料理店で働くよう決められていたからです。「なんで僕だけ働かなきゃいけないんだ」。本人に拒否権はありませんでした。大正生まれの父親に口答えは許されず、もがきながら中国料理の深みにはまっています。

ヌーベルシノワの名店トウランドットの総料理長、脇屋友詞(65歳)シェフの自伝です。初めて中華鍋に触れたのは15歳の春。赤坂にあった山王飯店で働き始めました。

乱読コーナー